

## 県政出張トーク実施結果報告

部局課室名	県土整備部 道路管理課	テーマ	「歩道のユニバーサルデザイン」について	
実施日時	平成27年1月27日（火） 13:30～15:30	実施場所	防災新館 1階オープンスクエア東面	
県出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県土整備部長</li> <li>・ 道路管理課長</li> <li>・ 都市計画課長</li> <li>・ 中北建設事務所長</li> </ul>	参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山梨県身体障害者連合福祉会</li> <li>・ 山梨県視覚障害者福祉協会</li> <li>・ 山梨車いす生活者の会</li> <li>・ 山梨大学大学院</li> <li>・ 甲府河川国道事務所</li> <li>・ 甲府市</li> <li>・ 県警本部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席</li> <li>5名</li> <li>4名</li> <li>1名</li> <li>2名</li> <li>2名</li> <li>1名</li> </ul>
主な発言内容		県回答		対応方針
<p>&lt;山梨県視覚障害者福祉協会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道の連続化について、整備箇所を利用してみると、交差道路の位置が分かりにくい。</li> <li>・ 整備済箇所は、歩車道境界ブロックが入っていない。これを入れ、歩道と交差道路部の素材を変えてもらえば、認識しやすくなると思う。歩車道境界ブロックがあることにより、車の運転手も視覚的に運転しやすいと思う。</li> </ul>		<p>(13:30～15:30) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道のユニバーサルデザイン（歩道の連続化、歩道と車道の段差の縮小）について平成24年度に制定した構造に関する条例の内容確認・整備事例の紹介を行う。</li> <li>また、甲府駅南口再整備について、現在の進捗（設計の状況）等について説明を行う。</li> </ul>		

主な発言内容	県回答	対応方針
<p>・連続化した歩道において、交差道路部に着色されていれば、弱視の方は車道部を認識できる。</p> <p>・甲府韮崎線（労働局前）の歩道は、【警告ブロック-誘導ブロック-警告ブロック】の組み合わせで交差道路を示している。つまり、奇数個目が交差道路の始まり、偶数個目が交差道路の終わりを示している。現状では、警告ブロックを一つ見落として（踏み落として）しまうと、奇数と偶数が逆になってしまい、どこが交差道路なのか分からなくなってしまう。</p> <p>また、警告ブロックが交差道路に対して直角に設置されている。現況形状の場合、警告ブロック上に立っていると、車両の内輪差により車に轢かれてしまう危険がある。</p> <p>・交差道路部（歩道部分）にあたる部分の点字ブロックの素材を変えてもらえば認識しやすくなるのではないかと。</p> <p>&lt;山梨車いす生活者の会&gt;</p> <p>・整備された歩道を利用して、車いすの立場では、歩車道境界における2cmの段差が必要な箇所、フラット形状にした箇所ともにベストな形状であると考え。国道、県道、市町村道問わず、山梨県下全域に普及していくことを望む。</p>	<p>・視覚障害の方の立場では、歩道の連続に関して現状の整備手法は交差道路が分かりにくいことが認識できた。</p> <p>いただいた意見を十分に吟味しながら、現場にも反映しなければならない。今後、具体的な対応について検討していく。</p>	

主な発言内容	県回答	対応方針
<p>・点字ブロックについて、景観に配慮するあまり、色彩を周りに同化させてしまっている箇所が見受けられる。点字ブロックの目的を考慮して、整備を行っていただきたい。</p> <p>また、シート状の点字ブロックは摩耗によりすぐに劣化してしまう。埋込型のブロックで整備していただきたい。</p> <p>・グレーチングについて、編み目を道路の縦断方向に対して直角になるよう設置していただきたい。こうすることにより、車いすのキャスターが溝にはまることなく。</p> <p>&lt;山梨県視覚障害者福祉協会&gt;</p> <p>・点字ブロックとバックグラウンドとのコントラストに関して、輝度で判別されてしまうと、採光（照明下）により見え方が異なってしまう。弱視の立場からすると、グレースケールで判断して欲しい。グレースケールトーン（真っ白0、真っ黒100）が最低30%程度ないと弱視の者は見極めが難しいと思う。また、点字ブロックとバックとの境界線上に輝度の全く反対の帯（補助線）があればわかりやすい。</p> <p>&lt;山梨車いす生活者の会&gt;</p> <p>・歩車道境界ブロックの段差について、県下統一してもらいたい。県から各市町村に統一するよう働きかけて欲しい。</p>	<p>・点字ブロックの輝度については、国の基準もあり、これに従って事業を行ってはいるが、一層障害者の方が認識しやすいよう取組んでいきたい。</p> <p>・点字ブロックの補修必要箇所については、至急対応が必要であると考えている。</p> <p>・グレーチングの編み目について、対応方法について今後検討を進めていく。</p> <p>・県では黄色点字ブロックの脇に黒の帯を設置するような取り組みを始めている。今後も、意見を伺うなかで取組んでいきたい。</p>	

主な発言内容	県回答	対応方針
<p>・南アルプス市内の市道の交差点において、歩車道の段差をアスファルト合材により、車いすの幅分ほどスロープ状に整備してもらった。甲府市内において、歩道が整備されていても歩車道の段差が大きく、車いすでは歩道を利用できないような箇所がある。改善をお願いしたい。</p> <p>&lt;山梨県視覚障害者福祉協会&gt;</p> <p>・盲導犬は、地先境界ブロックか歩車道境界ブロックがあれば一時停止する訓練を受けている。歩道の連続化により、これらが省かれると、今のままでは盲導犬は止まる目印がなくなる。このことについて認識しておいて欲しい。</p> <p>・盲導犬は、視覚障害者の左手で持たれるよう訓練されている。平和通りの自転車道の位置が車道側にあるので、平和通りの歩道を歩く際、左側に自転車道がくる場合に盲導犬が誤って自転車レーンに入ってしまうことが課題となっている。認識しておいてほしい。</p>	<p>・南アルプスの事例について、新聞にも掲載されており、現地確認もさせていただいた。当該整備例についても、検討、研究を行っている最中であり、車いすの方、視覚障害の方のバランスを考慮する中で対応していきたい。</p> <p>・市町村毎に縁石形状が異なることについては、県が市町村に対して様々な技術説明会を行う機会があるので、いただいた意見を伝えていきたい。</p> <p>・誰もが使いやすい歩道整備を行っていかねばならない。本日の貴重な意見をふまえ、今後の整備に活かしていきたい。</p> <p>・自転車通行環境整備については、整備・規制方法がいくつかあるが、自転車の通行実態・車両台数により、整備手法について検討を重ねて設置している。全てをクリアする手法は難しいが、いただいた意見を参考にさせていただきたい。 (県警本部 回答)</p> <p>・国の整備事例として、直轄事業 国道52号上石田改良で実施した歩車道境界ブロックの段差、歩道の横断勾配の整備内容について説明を行う。 (甲府河川国道事務所 説明)</p>	

主な発言内容	県回答	対応方針
<p>&lt;山梨大学大学院&gt;  ・作り手に柔軟な考えが必要であると感じた。歩道を安全に歩いてもらおう、ということであれば、歩車道境界をどうするという検討よりも、歩道と交差道路部の素材を変えれば、区別が付きやすいと思う。作り手の感覚だけで整備してしまえば、利用者側の意見が反映されない。このような場で議論して試行的に整備し、実際に使ってみてどうだと判断したら良いのではないかと。  また、巻き込み形状を変えた時に、車を運転する側からの意見はどうなのか。カーブを切る時の目安がなくなってしまうのではないか。こういった観点からも検討した方がよいのではないかと。</p> <p>&lt;山梨県視覚障害者福祉協会&gt;  ・南口整備に関して、（資料）シェルタ一部において目立たない細い柱との表記があるが、視覚障害者の立場を考慮して、明暗差をつけるとか、緩衝材等によりぶつかっても怪我をしない工夫をお願いしたい。  また、鎖による横断防止柵とあるが、膝より下の位置の鎖は引っ掛かって転倒する恐れがある。目立つ物にするとか、高い位置に設置する等工夫をお願いしたい。</p> <p>&lt;山梨車いす生活者の会&gt;  ・旧農林省事務所前の（北側）歩道段差を解消してもらいたい。</p>	<p>・いただいた意見を参考にさせていただき、検討していきたい。今後も意見交換をお願いしたい。</p> <p>・現地確認する中で、対応できる範囲で対応していきたい。今後の歩道整備に本日の貴重な意見を反映していきたい。（甲府市 回答）</p>	

主な発言内容	県回答	対応方針
<p>・県民文化ホール北交差点から北へ向かう道路の東側歩道が民家へぶつかって止まっている。民家の手前で段差をすり合わせてもらえば、障害者にとっても歩道として利用することができる。対応していただきたい。 また、南口改修に伴う駅のエレベータ設置についての状況を伺いたい。</p> <p>&lt;山梨県視覚障害者福祉協会&gt; ・南口整備に関して、点字ブロックの敷設配置については、計画の段階で障害者団体に提示していただきたい。北口の点字ブロックにおいて、障害者にとって不具合な状況となってしまうている。</p> <p>&lt;山梨大学大学院&gt; ・身体障害者の立場だけではなく、健常者であっても不具合に感じるような構造となってしまうてはいないか等、改めて、今までの思い込みを捨てて、これで良いのかなと見直しをしていかなければならないと感じた。</p>	<p>・歩道に関しては、コストや用地買収が伴う等、課題を抱えている箇所が他にも点在していると思われる。これは、ご意見を頂きながら、国・県・市町村それぞれの組織が、暫定対策も含める中で対応していくべきであると考えている。参考にさせていただきたい。</p> <p>・南北自由通路は、JR所有の施設（鉄道施設）であるため、現在、県・甲府市からJRに対して設置可能位置の検討や概算事業費の算定をお願いしているところである。</p> <p>・最終的な点字ブロックの設置について、視覚障害者団体に相談させていただく。</p>	

主な発言内容	県回答	対応方針
	<p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を頂いた内容につきましては、今後の施策や事業を進める上での参考とさせて頂きたい。</li> <li>・今後もこのような機会を通じて、皆様の意見を踏まえてユニバーサルデザインを取り入れた歩道などの整備を進めるとともに、整備したものについて感想をお聞かせ頂き、より利用しやすいものとなるよう、継続的な取り組みを行っていきたい。</li> <li>・甲府駅の南口周辺地域の再整備については、皆様から出された意見を参考に、山梨県の玄関口としてふさわしい機能や街並みとなることを目的とし、誰にとっても安心して快適に利用できる整備となるよう、進めていきたい。</li> </ul>	